

# 2023 年度

## <学部生向け>

# 経済支援型奨学金ガイド

★各奨学金情報は本学奨学金 Web サイトでも掲載しています。  
<https://www.ritsumei.ac.jp/scholarship/>



★奨学金に関する連絡事項（採否結果・継続手続・募集開始の広報など）は、  
manaba+R を通じて行います。必ず定期的に確認してください。

manaba+R とは…

manaba+R →

大学が学生向けにさまざまな情報を提供する Web 掲示板で、  
学生本人のみ閲覧が可能です。  
利用方法については、入学直後のオリエンテーションで案内します。

### <各種問い合わせは、所属キャンパス学生オフィスへ>

土・日・祝日を除く 9:30~11:30、12:30~17:00（火曜日のみ 12:30~17:00）

●衣笠キャンパス<研心館 2 階>

【法・産業社会・国際関係・文・映像】

〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1 TEL:075-465-8168/8494

●BKC(びわこ・くさつキャンパス) <セントラルアーク 1 階>

【経済・理工・情報理工・生命科学・薬・スポーツ健康科学・食マネジメント】

〒525-8577 滋賀県草津市野路東 1-1-1 TEL:077-561-2854

●OIC(大阪いばらきキャンパス) <A 棟 1 階 AS 事務室>

【経営・政策科学・総合心理・グローバル教養】

〒567-8570 大阪府茨木市岩倉町 2-150 TEL:072-665-2135

# 頑張るあなたを応援！学びと成長を支援します

本学では、学生が安心して学生生活を送り、一人ひとりの学修・学生生活の目標にチャレンジできるように支援する独自の奨学金制度を持っています。正課・課外自主活動問わず、キャンパス内外で行われる学生の多様な学びを学修と位置づけ、学生が主体的・能動的に学び、成長する機会を応援します。

## ◇ 奨学金の種類 ◇

奨学金といえば、「成績優秀な一部の人しか受けられない」「全ての奨学金で、卒業後返還が必要」と思われがちですが、必ずしもそうではありません。本学の奨学金には、家計基準により選考されるものや返還義務のないもの（給付型）が多くあります。また、国の教育事業である日本学生支援機構奨学金や、民間財団・地方公共団体の奨学金（貸与型・給付型）など種別はさまざまです。分類は以下のとおりです。

経済支援型奨学金 (経済的に修学が困難な学生をサポート)	貸与型 (返還義務あり)	無利子
		有利子
	給付型 (返還義務なし)	
成長支援型奨学金 (多様な活動に取り組む学生をサポート)	給付型 (返還義務なし)	

## ◇ 奨学金を受給する際の注意事項 ◇

### <「貸与型奨学金」の受給・返還について>

日本学生支援機構貸与奨学金をはじめとする「借りて返す」奨学金は、低い金利で有利な返還条件や、返還猶予制度などが設定されています。金融機関による教育ローンと比較して採用されやすいのも特徴です。しかしながら貸与型の奨学金は、利息も含め**卒業後に返還の義務があります**。借る金額については、どのくらいの金額が必要なのかをよく考えて決定してください。

\* 返還義務を怠り、延滞の状況が続くと、個人信用情報機関に個人情報が登録されます。

### <「給付型奨学金」の受給について>

貸与型奨学金と異なり、給付型奨学金は返還の義務がありません。昨今の経済・社会情勢などの影響から、給付型奨学金の出願者は増加傾向にあります。しかし、**給付型奨学金の出願基準は貸与型奨学金よりも厳しいものが多く、必ず採用になるとは限りません**。安定した学生生活を送るためには、給付型奨学金だけを申請するのではなく、貸与型奨学金もあわせて申請するなどの計画を立てましょう。

\* 日本学生支援機構給付型奨学金の採用が決定した後に、日本学生支援機構貸与型奨学金の受給金額を減らす・辞退することも可能です（日本学生支援機構給付奨学金が採用となった場合、日本学生支援機構貸与奨学金第一種の受給金額が減額される場合があります。詳しくは日本学生支援機構 Web サイトを確認してください）。

# 立命館大学で取り扱う奨学金制度（学部生向け）

立命館大学では、立命館大学独自の奨学金だけでなく、学外の奨学金制度（日本学生支援機構奨学金・民間財団奨学金・地方公共団体奨学金など）も利用できます。それぞれ募集時期、出願資格、提出書類が異なりますので、各自で最新の募集要項を確認のうえ手続きを行ってください。募集要項は「立命館大学 奨学金Webサイト」に掲載しています。

**※本冊子では、上段に記載している「経済支援型奨学金」について紹介をしています。下段の成長支援型奨学金については、各奨学金Webサイトで確認してください。**



## 経済支援型奨学金

経済的に修学が困難な学生をサポート	1. 恒常的に収入が少なく経済的に修学困難な学生をサポート [窓口]: 学生オフィス	1-1 日本学生支援機構 貸与奨学金（第一種・第二種）…………… 貸与 P.5 1-2 日本学生支援機構給付奨学金および立命館大学学費減免（国の授業料減免）…………… (授業料減免型) 給付 P.8 1-3 民間財団奨学金【学校推薦群】…………… 給付・貸与 P.9 1-4 民間財団奨学金【一般公募群】・地方公共団体奨学金…………… 給付・貸与 P.11
	2. 家計急変・災害等により修学困難に陥った学生をサポート [窓口]: 学生オフィス	2-1 日本学生支援機構給付奨学金（国の授業料減免）<家計急変>…………… (授業料減免型) 給付 P.12 2-2 日本学生支援機構 貸与奨学金<緊急採用・応急採用>…………… 貸与 P.13 2-3 立命館大学家計急変学費減免…………… 給付 (授業料減免型) P.14 2-4 立命館大学父母教育後援会 家計急変奨学金…………… 給付 (授業料減免型) P.15 2-5 立命館大学父母教育後援会 会員弔慰金…………… P.15 2-6 立命館大学父母教育後援会災害支援奨学金…………… 給付 (授業料減免型) P.16 2-7 立命館大学父母教育後援会会員災害見舞金…………… P.16 2-8 JASSO災害支援金（自然災害等）…………… 給付 P.16
	3. 教育ローン（日本政策金融公庫、セディナ、オリエントコーポレーション、滋賀銀行）……………	貸与 P.17



## 成長支援型奨学金

多様な活動に取り組む学生をサポート	正課授業を頑張る・頑張った [窓口]: 各学部事務室	・ 立命館大学西園寺記念奨学金（成績優秀者枠）…………… 給付 ・ 立命館大学+R学部奨学金…………… 給付
	留学したい [窓口]: 国際教育センター ※日本学生支援機構(貸与)のみ学生オフィス	・ 立命館大学海外留学チャレンジ奨学金…………… 給付 ・ 立命館大学海外留学サポート奨学金…………… 給付 ・ 立命館大学+R校友会未来人材育成奨学金（海外留学）…………… 給付 ・ 立命館大学異文化交流助成金…………… 給付 ・ 日本学生支援機構貸与奨学金（第二種短期留学）…………… 貸与
	難関分野資格取得に挑戦し、合格した [窓口]: エクステンションセンター	・ 立命館大学エクステンションセンター特別奨励生…………… 給付 ・ 立命館大学西園寺記念奨学金（難関試験合格者枠）…………… 給付
	課外活動・自主活動を頑張る [窓口]: 学生オフィス	<個人向け> ・ 立命館大学Challenge 奨学金（個人）…………… 給付 ・ 立命館大学正課外プログラム助成金…………… 給付 ・ 立命館大学アスリート・クリエイター育成奨学金（個人）…………… 給付  <団体向け> ・ 立命館大学校友会未来人材育成奨励金（団体）…………… 給付 ・ 立命館大学課外自主活動団体助成制度…………… 給付

## よくある質問 ～ “奨学金” のここが知りたい ～

### 質問1 学生生活には、どのくらいの生活費が必要ですか？

- ✓ A. 下表の、1か月に必要な生活費を参考にしてみてください。  
自らの生活設計を立てることはとても重要です。

	自宅生			自宅外生		
	衣笠	BKC	OIC	衣笠	BKC	OIC
食費	9,440	8,870	10,070	26,120	25,580	25,980
住居費	360	330	1,040	56,710	51,120	56,490
交通費	7,400	8,840	7,840	3,790	4,940	3,420
教養娯楽費	11,820	11,570	11,710	12,280	11,020	13,400
書籍・勉強費	3,460	3,480	2,670	4,950	3,290	2,140
日常費・電話代	8,270	8,160	8,690	11,350	11,340	15,550
その他・貯金繰越	22,850	19,590	21,040	14,500	14,150	13,220
支出合計	63,600	60,840	63,060	129,700	121,440	130,200

立命館生活協同組合 2021年度学生生活実態調査より (単位:円)

### 質問2 奨学金はいつ申し込んだらよいですか？

- ✓ A. 募集時期はそれぞれの奨学金によって異なります。  
本ガイドや**奨学金 Web サイト**、**manaba+R** で募集期間や出願方法を確認してください。奨学金の申請にあたり、収入に関する証明書や家庭事情に関する証明書などを準備する必要があります。これらの書類は準備に時間を要しますので、出願を希望する場合は時間に余裕をもって手続を進めてください。

### 質問3 奨学金を申し込むためにはどんな条件がありますか？

- ✓ A. それぞれの奨学金に対して独自の出願基準（家計基準・学力基準など）が設けられています。  
詳細は、必ず各奨学金の募集要項を確認してください。なお、「**出願基準**」=「**採用基準**」ではありません。採用定員が定められている場合がありますので、出願基準を満たしている全ての方が採用となるわけではありません。

### 質問4 ひとり親家庭ですが、それによって受けられる給付型奨学金や授業料減免制度はありますか？

- ✓ A. ひとり親家庭であることで採用が確定する奨学金や授業料減免はありません。  
経済支援型奨学金は、生計維持者（原則父母両方）の収入に加え、さまざまな家庭事情（所属学部の授業料、自宅生か下宿生か、ひとり親家庭か否か、就学中の兄弟姉妹の数など）を考慮したうえで判断するものが多いです。奨学金の種類によって選考条件が異なりますので、必ず各奨学金の募集要項を確認してください。

### 質問5 複数の奨学金を同時に受給できますか？

- ✓ A. 奨学金の種類によって同時受給（併給）が可能なものと、そうでないものがあります。  
「経済支援型奨学金」と「成長支援型奨学金」については、概ね同時受給が可能です。また、日本学生支援機構奨学金と立命館大学独自の奨学金も一部を除き同時受給が可能です。立命館大学独自の経済支援型奨学金と民間財団奨学金の同時受給については認められない場合もあります。詳細は、それぞれの奨学金の募集要項で確認してください。

**質問6** 奨学金はどのようにして受け取るのでしょうか？

- ✓ A. 奨学金の支給方法は各奨学金によって異なります。  
例えば、日本学生支援機構奨学金は毎月学生本人の口座へ振込、学費減免は授業料（学費）に充当する方法での給付（授業料の請求額から差し引かれる形式）です。支給期間についても、単年度限り、修業年限まで継続などさまざまです。

**質問7** 奨学金を希望しています。ほかの学生さんの奨学金の利用状況を参考にしたいです。

- ✓ A. 以下の、奨学金利用者モデルケースを参照してください（奨学金は年額です）。

<p><b>法学部3回生 Rさん（自宅外）</b> ＜世帯人数5人 世帯収入1196万円＞</p> <table><tr><td>家族構成</td><td>(父)</td><td>会社員</td><td>1016万円</td></tr><tr><td></td><td>(母)</td><td>パート従業員</td><td>180万円</td></tr><tr><td></td><td>(弟)</td><td>高校生（私立）</td><td></td></tr><tr><td></td><td>(弟)</td><td>中学生</td><td></td></tr></table> <p>■ 利用している奨学金 日本学生支援機構 貸与奨学金 第二種 96万円</p>	家族構成	(父)	会社員	1016万円		(母)	パート従業員	180万円		(弟)	高校生（私立）			(弟)	中学生		<p><b>経済学部2回生 Iさん（自宅）</b> ＜世帯人数4人 世帯収入60万円（非課税）＞</p> <table><tr><td>家族構成</td><td>(母)</td><td>パート従業員</td><td>60万円</td></tr><tr><td></td><td>(姉)</td><td>大学生（私立）</td><td></td></tr><tr><td></td><td>(妹)</td><td>中学生</td><td></td></tr></table> <p>■ 利用している奨学金 日本学生支援機構 給付奨学金 45.9万円 国の授業料減免 70万円</p>	家族構成	(母)	パート従業員	60万円		(姉)	大学生（私立）			(妹)	中学生	
家族構成	(父)	会社員	1016万円																										
	(母)	パート従業員	180万円																										
	(弟)	高校生（私立）																											
	(弟)	中学生																											
家族構成	(母)	パート従業員	60万円																										
	(姉)	大学生（私立）																											
	(妹)	中学生																											
<p><b>文学部1回生 Tさん（自宅外）</b> ＜世帯人数3人 世帯収入526万円＞</p> <table><tr><td>家族構成</td><td>(父)</td><td>会社員</td><td>306万円</td></tr><tr><td></td><td>(母)</td><td>会社員</td><td>220万円</td></tr></table> <p>■ 利用している奨学金 日本学生支援機構 貸与奨学金 第一種 76.8万円 日本学生支援機構 貸与奨学金 第二種 60万円</p>	家族構成	(父)	会社員	306万円		(母)	会社員	220万円	<p><b>経営学部3回生 Gさん（自宅外）</b> ＜世帯人数4人 世帯所得307万円＞</p> <table><tr><td>家族構成</td><td>(父)</td><td>自営業(所得)</td><td>290万円</td></tr><tr><td></td><td>(母)</td><td>専従者(収入)</td><td>350万円</td></tr><tr><td></td><td>(祖父)</td><td>無職</td><td></td></tr></table> <p>■ 利用している奨学金 日本学生支援機構 貸与奨学金 第二種 120万円</p>	家族構成	(父)	自営業(所得)	290万円		(母)	専従者(収入)	350万円		(祖父)	無職									
家族構成	(父)	会社員	306万円																										
	(母)	会社員	220万円																										
家族構成	(父)	自営業(所得)	290万円																										
	(母)	専従者(収入)	350万円																										
	(祖父)	無職																											

※モデルケースはいずれも、経済支援型奨学金を中心にしたものです。

# 1. 恒常的に収入が少なく経済的に修学困難な学生をサポート

## 1-1 日本学生支援機構 貸与奨学金（第一種・第二種） 貸与型

国の教育事業として実施されている**日本学生支援機構の貸与奨学金 第一種・第二種**は、主として政府からの借入金と卒業生からの返還金によって運用され、経済的理由により修学困難な学生に貸与を行うことにより、教育の機会均等をはかることを目的としています。日本学生支援機構の推薦基準に基づき大学が推薦し、日本学生支援機構が採否を決定します。

全国の大学では学生の2.7人に1人がこの奨学金を受けています。本冊子ではあくまで概要説明となりますので、出願にあたっては、必ず募集要項および日本学生支援機構発行の冊子「貸与奨学金案内」または日本学生支援機構 Web サイトを確認してください。



**日本学生支援機構貸与奨学金の募集は原則、年2回（春4月、秋10月募集）です。  
本奨学金を希望する方は、必ず募集期間に出願してください。**

	第一種	第二種
利 子	無利子	有利子（上限は3%、在学中は無利子）
貸与月額 *希望金額を選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>●2018年度以降入学者（途中年次への編入学および再入学を除く）</li> <li>【自宅通学】2万円、3万円、4万円、5.4万円</li> <li>【自宅外通学】2万円、3万円、4万円、5万円、5.4万円、6.4万円</li> <li>（注）各通学区分の最高月額と自宅外通学5.4万円の選択には「併用貸与」の家計基準を満たす必要があります</li> <li>●2017年度以前入学者は「貸与奨学金案内」を参照</li> </ul>	2万円～12万円（1万円単位） *薬学部生のみ14万円の選択も可能
貸与期間	修業年限（4年間、薬学部薬学科は6年間） ※毎年年度末に継続手続・修得単位数による審査があります。（P.7の(4)参照）	
採用人数	学力基準および家計基準の両方を満たす方は全員採用（予定）	
出願の 学力基準	【新入生】高等学校又は専修学校高等課程最終2カ年の成績の平均が、各学校区分において3.5以上であること。 【在学生】累積 GPA が本人の属する学部（科）の上位1/3以内であること。 ※ただし2017年度入学者から、住民税非課税世帯である場合のみ、学力基準が撤廃されます。	【新入生】入学を以って基準有りとみなします。 【在学生】修得単位数から判断して修業年限で卒業が見込まれること。ただし、第一種を現在受給中で今回第二種を出願し併用貸与を希望される場合、 <u>学力基準は第一種の基準となります。</u>
家計基準	所得の種類、金額、世帯構成、本人の学費、通学形態（自宅/自宅外）、家庭事情によって、種別（第一種、第二種、第一種・第二種併用）ごとにそれぞれ異なります。詳細は日本学生支援機構 Web サイトを確認してください。（P.7の(2)参照）	
保証制度	「人的保証」または「機関保証」のいずれかを選択（P.6の(1)参照）	
貸与方法	毎月1回、指定の銀行口座に振込み。 ※口座は、学生本人名義の普通預金口座に限ります。	
貸与開始	貸与始期：4月（春）/10月（秋） 振込開始：7月（春）/12月（秋） 貸与始期は4月/10月ですが、振込開始月は <b>7月/12月</b> です。春季は7月に4カ月分（4～7月分）の奨学金の振込みがあり、秋季は12月に3カ月分（10～12月分）の振込みがあります。以降は毎月の振込みとなります。	
返還について	<b>種別（第一種・第二種）に関わらず、卒業後返還の義務があります。</b> 採用時：「返還誓約書（借用証書）」（採用決定後に配布）を提出。 貸与終了時：返還のための引落口座を登録。卒業後、毎月一定額がそこから引き落とされます。 ※返還例は日本学生支援機構発行「貸与奨学金案内」を参照してください。	

※外国人留学生（法定特別永住者またはその配偶者は除く）・聴講生・科目等履修生は出願できません。

※この情報は2023年1月時点の情報です。制度が変更になる場合があります。

……………日本学生支援機構貸与奨学金 留意すべきポイント……………

- (1) 保証制度の選択
- (2) 家計基準（家計に関する書類の提出）
- (3) 入学時特別増額貸与奨学金 ※新入生・編入生の希望者のみ
- (4) 継続手続（継続審査）※毎年実施、例年1月締切

**(1) 保証制度の選択：申込時、必ず全員が選択する必要があります。**

保証制度は、貸与を受ける本人が連帯保証人・保証人を引き受けてくれる人を探して依頼する「**A. 人的保証制度**」と、保証機関（公益財団法人日本国際教育支援協会）に連帯保証を依頼する「**B. 機関保証制度**」の2種類があり、そのいずれかひとつを選択します。

どちらを選んでも、奨学金の貸与を受けた本人が、奨学金の返還の義務を負うことに変わりはありません。

**A. 「人的保証制度」について**

連帯保証人と保証人両方の選任が必要です。必ず事前にその方の承諾を得ておいてください。

	役割	選任条件
<b>連帯保証人</b>	奨学生本人と連帯して返還の義務を負う	原則、父または母。父母がいない等の場合には、兄弟姉妹、おじ、おば等4親等以内の成年親族。
<b>保証人</b>	奨学生本人や連帯保証人が返還できなくなった場合、本人に代わって返還する	父母以外の兄弟姉妹、おじ、おば等連帯保証人と別生計で、4親等以内の成年親族で65歳未満の方。

**B. 「機関保証制度」について**

日本学生支援機構奨学金の貸与を受けるにあたって、保証機関が連帯保証する制度です。連帯保証人・保証人を確保できない場合や、本人が希望する場合に利用するもので、一定の保証料（貸与月額の約5%）を保証機関に支払うことで貸与が受けられます。連帯保証人・保証人を立てる必要はありませんが、月々の貸与金額から保証料が差し引かれます。機関保証実施機関は、(公財)日本国際教育支援協会です。

注1) 機関保証を選択し保証料を支払っても、奨学金を返還する義務があることは人的保証制度と同じです。「保証料を支払ったから奨学金の返還をしなくてもよい」ということではありませんので、注意してください（保証料を含めた総額を返還する義務があります）。

注2) 保証機関が本人に代わって返済（代位弁済）した場合、保証機関は本人にその分（奨学金の未返還額）を一括して請求します。また、悪質な延滞者に対しては、保証機関が法的措置（財産、給与の差し押さえ）を執ります。

(参考) 保証料の目安(2022年度)：

第一種（無利子）貸与月額6.4万円の場合：2,666円/月、第二種（有利子）貸与月額8万円の場合：4,324円/月



**申込・採用後に「機関保証」から「人的保証」への変更はできません。**

≪保証制度別、返還誓約書（借用証書）の提出に必要な手続きと書類≫

(注) 以下の表の書類提出時期は、採用が確定し、**初回振込（7月/12月）が行われた後**です。出願時に提出の必要はありません。**各種証明書類は有効期限があります**ので、注意してください。

		選任基準	署名	捺印	住民票	印鑑証明書	収入に関する証明書	保証依頼書
人的保証	奨学生本人	-	○	-	△※	-	-	-
	連帯保証人	原則として父母	○	○ (実印)	-	○	○	-
	保証人	連帯保証人と別生計で4親等以内の方(原則として65歳未満)。	○	○ (実印)	-	○	-	-
機関保証	奨学生本人	-	○	-	△※	-	-	○
	連絡先	奨学生本人が卒業した後も、本人と連絡をとれる方。	○	-	-	-	-	-

※日本学生支援機構にマイナンバーを提出された場合、住民票は不要です。

## (2) 家計基準 (家計に関する書類の提出)

生計維持者 (原則父母、父母がいない場合は代わって家計を支えている人) の年間収入(注 1)・所得(注 2)金額から、家庭事情に関する特別控除額(注 3)を差し引いた金額が、日本学生支援機構の定める基準額以下であれば家計基準を満たします。家計基準は原則として日本学生支援機構がマイナンバーにより自治体から収入情報を取得して判定します。収入・所得は、4月の募集は前々年、10月の二次募集の場合は前年の金額が対象となります。ただし、転職・退職など各家庭により事情が異なりますので、詳細は必ず募集要項を確認してください。

(注 1) 給与所得者の場合、年間収入は「所得証明書の収入金額」です。年金、生活扶助費、失業給付金などによる収入の場合、給与所得者として扱います。

(注 2) 自営業等その他所得の場合、所得は「確定申告書の所得金額」です。

(注 3) 特別控除：家族構成、就学者、授業料、通学形態、家庭事情など (住宅ローンなどの借入は控除対象外)

### 《収入・所得の上限額の目安》

日本学生支援機構が発行している冊子「貸与奨学金案内」または日本学生支援機構 Web サイトの以下 URL にアクセスし、確認してください。

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/taiyo/index.html>

\* [日本学生支援機構 TOP → 奨学金 → 奨学金制度の種類と概要 → 貸与奨学金 (返済必要) の「国内の奨学金」より希望の種別を選択 → 家計基準を選択 → 進学後 (在学採用) の家計基準 → 大学で受ける奨学金の家計基準 → 私立大学に在籍している方] より参照してください。

## (3) 入学時特別増額貸与奨学金：利用するには条件があります。

日本学生支援機構貸与奨学金の第一種または第二種を出願する新入生 (編入学生含む、秋季は秋入学の新入生のみ) で、以下の申込条件のいずれかを満たす方は、初回振込時 (7月/12月) に限り、一時金の貸与を受けることができる制度です。

### ＜貸与金額＞

10万円・20万円・30万円・40万円・50万円から選択 (有利子。第二種奨学金の利率とは別計算)

### ＜申込条件＞

- ① 主たる生計維持者が給与所得者の場合、およそ年収が 400 万円以下程度 (4人世帯の場合) となる人。
- ② ①以外の方で、日本政策金融公庫の『国の教育ローン』を申込んだが、融資を受けることができなかった人。

②の場合、申請時に必要な書類

(ア) 入学時特別増額貸与奨学金に係る申告書

(イ) 融資できない旨を記載した公庫発行の通知文のコピー

(ウ) ※第二種奨学金を希望する人のみ「入学時特別増額貸与奨学金に係る貸与総額増額願」

## (4) 継続手続 (継続審査)：毎年 1 回 (1 月頃) 必ず手続が必要で。

日本学生支援機構貸与奨学金は、原則として修業年限まで受給する権利がありますが、全ての受給者が **毎年 1 回 (1 月頃) 継続手続 (Web 入力) をしなければなりません。継続を希望しない場合も「辞退」の手続が必要で。期限までに手続をしない場合、奨学金は「廃止」となります。**廃止になると、家計状況の変化や進学などが理由で、改めて奨学金の受給を希望しても採用されない恐れがあります。

また、同時に修得単位数による審査も行います。大学が定めた修得単位数に満たない場合、奨学金が「一カ年停止」となります。停止となった場合は、単位基準を満たせば、その翌年度から復活が可能です。

## 1 - 2 日本学生支援機構給付奨学金および立命館大学学費減免（国の授業料減免） 給付型

修学の意志がありながら、経済上の理由により修学が困難な学生を支援することを目的とする奨学金です。本学独自の授業料減免制度「立命館大学学費減免」とは、国の授業料減免を包括した授業料減免制度です。学力基準および家計基準により支援範囲が異なります。

	給付奨学金 ※毎年継続手続き（継続審査）があります	学費減免 ※毎年継続手続き（継続審査）があります
基礎資格	新 1 回生～新 4 回生（薬学部薬学科は 1～6 回生）に在籍する学部生 （編・転入学生含む。立命館大学外国人留学生授業料減免の出願資格を有する者は除く）	
給付額	<p>&lt;第Ⅰ区分&gt; 自宅通学：38,300 円（42,500 円） 自宅外通学：75,800 円</p> <p>&lt;第Ⅱ区分&gt; 自宅通学：25,600 円（28,400 円） 自宅外通学：50,600 円</p> <p>&lt;第Ⅲ区分&gt; 自宅通学：12,800 円（14,200 円） 自宅外通学：25,300 円</p> <p>※いずれも月額です ※採用時、自宅月額で支給開始。その後自宅外通学の証明書類を提出し、日本学生支援機構で審査完了後、自宅外月額受給可能となります ※（ ）内の金額は、生活保護受給世帯および進学後も児童養護施設等から通学する人が該当します ※年 1 回の支援区分の見直しにより、給付額が変更になる場合があります</p>	日本学生支援機構給付奨学金の支援区分による授業料減免額と、本学の支援区分による年間授業料 1/2 または 1/4 のいずれか大きい額を減免
給付方法	本人名義の口座に原則毎月振込	学費請求時に、決定した減免額を授業料から差し引く方法で給付
選考基準	日本学生支援機構が定める家計基準・学力基準・その他基準のすべてを満たす者	日本学生支援機構給付奨学金に採用された者、もしくは本学独自の家計基準を満たす者
家計基準	住民税非課税世帯およびそれに準ずる世帯、かつ資産が基準額未満	給付奨学金の家計基準または生計維持者（原則父母合算）の年間収入が 400 万円以下、その他所得 57 万円以下
学力基準	<p>【新入生】①②③いずれかに該当すること</p> <p>①高等学校等における評定平均値が 5 段階評価で 3.5 以上であること</p> <p>②高卒認定試験の合格者であること</p> <p>③将来、社会で自立し、活躍する目標をもって学修する意欲を有していることが、学修計画書等により確認できること</p> <p>【在学生】①②いずれかに該当すること</p> <p>①GPA が在学する学部における上位 1/2 の範囲に属すること</p> <p>②修得した単位数が標準単位数以上であり、かつ、将来社会で自立し活躍する目標を持って学修する意欲を有していることが学修計画書により確認できること</p> <p>※①②いずれかに該当する場合でも、学業成績の適格認定基準を満たさない場合は不採用となります。</p>	本学への入学をもって資格ありとする（ただし、日本学生支援機構の支援区分による授業料減免額を受ける場合は、左記と同様の基準を満たす必要あり）
その他の基準	「大学に進学するまでの期間に関する基準」「国籍・在留資格の基準」等、詳細は日本学生支援機構 Web サイトで確認してください。	
2023 年度スケジュール	【春募集】3 月中旬：募集要項配布開始、4 月 17 日（月）：出願締切（厳守） 【秋募集】未定。決まり次第本学奨学金 Web サイトでお知らせします。	

多くの企業または公益法人など（以下、財団）では、広く社会に貢献する人材あるいは優秀な人材の育成を目的として奨学事業を実施しており、大学生・大学院生を対象に奨学生を募集しています。本学に対し、年間 50 以上の団体から募集案内がありますが、本学ではそれらを以下のように分類しています。

学校推薦群	<p><b>給付型（一部、給付貸与併用型あり）</b> 財団が、指定大学に対して一定の推薦枠を設けており、学生が個人で自由に応募することはできないため、学内選考を行ったうえで推薦します。本学でも例年複数の財団から推薦依頼があり、<b>学内選考は財団ごとではなく、【学校推薦群】として一括募集・選考を行います。</b>どの財団に推薦されるかについては、<b>学内選考の結果や各財団の採用基準を考慮し、大学が決定します。</b> 出願書類は全て大学を経由して提出します。 ※奨学生として採用されたことにより、卒業後の進路が拘束されることはありません。</p>
一般公募群	<p><b>給付型と貸与型</b> 原則、学内選考は行わず(例外あり)、財団の出願資格を満たす方は自由に応募ができます。選考は財団で行われます。募集時期は財団によるため、財団から本学へ募集案内が届き次第、随時本学奨学金 Web サイトに情報公開とします。出願書類は各自で直接財団へ提出する場合と、大学を経由する場合とがあります。(P.11 参照)</p>

(注) 2023 年度の「学校推薦群」（新入生）の出願締切は、**3月24日(金)**です (Web 申請 : 17 : 00 締切)。  
新 2 回生以上の募集については 2 月 2 日に受付が終了しています。

## 【学校推薦群】

給付内容	財団により異なる	
採用人数	当該年度の財団の推薦枠により変動 (2022 年度実績 : 学部生全体で 44 人)	
出願基準 ※外国人留学生は対象外	期待される人物像	立命館大学を代表する奨学生として相応しい (学業成績優秀、品行方正) 者でありながら、経済的理由で修学困難な者。奨学生に採用後、財団が求める報告書等の提出義務を怠らず、交流会等の企画に必ず参加できる者。
	家計基準	生計維持者 (父母両方) の年間収入・所得の合算が 給与収入の場合 ⇒ <b>800 万円以下 (控除前)</b> 自営業等その他所得の場合 ⇒ <b>337 万円以下 (売上 - 経費の額)</b>
	学業基準	新入生 : 高等学校 (3 年次 3 学期まで) の評定平均 4.0 以上 在學生 : 前年度春学期 (前期) までの累積 GPA 3.2 以上
2023 年度 スケジュール (予定)	<p>【 新 1 回生対象 】</p> <p>3 月 24 日 (金) : 出願〆切 → 学内一次選考 (書類審査)</p> <p>4 月 8 日 (土) : 二次選考 (面接) * 一次選考通過者のみ</p> <p>4 月 18 日 (火) : 学内推薦者発表</p> <p>4 月 末 ~ 5 月 : 各財団への書類提出</p> <p>4 月 末 ~ 6 月 : 各財団による選考 (財団により、面接を行う場合もあります)</p> <p>5 月 ~ 6 月 : 正式採用決定 (正式採用後、振込が始まります。振込方法や開始日は財団により異なります)</p> <p>※なお、2 回生以上の学生を対象としたスケジュールは、1 回生より早く実施しております。詳細は Web サイトにて確認してください。</p>	

【学校推薦群】の詳細および募集要項は、いずれも本学奨学金 Web サイトに掲載しています。

<https://www.ritsumeai.ac.jp/scholarship/economic03.html/#economic-disaster-02>





## 1 - 4 民間財団奨学金【一般公募群】・地方公共団体奨学金 給付型・貸与型

### (1) 民間奨学財団奨学金【一般公募群】

以下に掲載しているのは、昨年度本学に案内のあった財団の一部です。出願条件、締切日、出願方法（直接応募または大学経由）などの詳細情報は、本学奨学金 Web サイトの「民間奨学財団一覧表【一般公募群】」に財団からの要項が届き次第、順次掲載しています。出願を希望する場合は、必ず当該財団の募集要項でも詳細を確認したうえで書類を準備してください。

<https://www.ritsumeai.ac.jp/scholarship/economic03.html/#economic-disaster-03>



アキレス育英会	佐藤奨学会	日本通運育英会
朝日ウッドテック財団	CTC 未来財団	阪和育英会
あしなが育英会	G-7 奨学財団	福岡奨学会
池田育英会トラス	誠志ツルヤ奨学会	フジシール財団
浦上奨学会	関育英奨学会	船井奨学会
エルアイシー	大学女性協会	ほくと育英会
唐神基金	大東育英会	ホリプロ文化芸能財団
河内奨学会	鷹野学術振興財団	丸和財団
川村育英会	TSC 奨学会	ユニ・チャーム共振財団
キーエンス財団	東洋水産財団	吉田育英会
京都新聞社	同盟育成会	ヨネックススポーツ振興財団
クマ財団	中部奨学会	米濱・リンガーハット財団
交通遺児育英会	永富薬学奨学財団	レントオール奨学財団
香雪美術館	西村奨学財団	
在日韓国奨学会	似鳥国際奨学財団	(50音順)

### (2) 地方公共団体奨学金

多くの都道府県および市町村が、それぞれの地域に居住する者の子弟もしくは出身の学生に対し、独自の奨学金制度を設けています（主に貸与型）。これらの団体の募集要項は、本学に募集・掲載依頼のあった場合のみ、本学奨学金 Web サイト内の「地方公共団体奨学金一覧表」に概要を掲載しています。これら以外でも奨学生を募集している団体が数多くあります。希望する場合は、該当の都道府県・市区町村の教育委員会に各自で直接問い合わせることで出願してください。

#### ★返還支援制度

地方公共団体の奨学金の多くは貸与型ですが、卒業後、日本学生支援機構第一種奨学金の「返還支援制度」を設けている県・市区町村もあります。詳しくは、自身で該当の都道府県・市区町村に問い合わせてください。

＜返還支援制度を設けている県・市町村＞ \*本学に案内があったところのみを掲載しています。

- ・ 香川県 日本学生支援機構第一種（無利子）奨学金を活用した返還支援制度
- ・ 鹿児島県育英財団大学等奨学金返還支援制度
- ・ 山口県高度産業人材確保事業奨学金返還補助制度
- ・ 山梨県ものづくり人材就業支援
- ・ 京丹後市定住促進奨学金返還支援補助金
- ・ 城陽市若者定住奨励奨学金返還支援制度
- ・ 高浜町U I ターン奨学金返還サポート制度
- ・ やまがた就職促進奨学金返還支援事業
- ・ 三重県地域と若者の未来を拓く学生奨学金返還支援事業



## 2. 家計急変・災害等により修学困難に陥った学生をサポート

### <家計急変とは>

生計維持者の死亡、病気、失業、倒産、退職、離婚などにより、大幅な収入減が生じ、家計が急変することを指します。各奨学金によって急変事由発生時期から出願完了までの期間が異なります。また、**急変事由によって出願できる奨学金が異なります**ので、詳細については各募集要項をよく確認のうえ、出願してください。

### 2-1 日本学生支援機構給付奨学金（国の授業料減免）<家計急変> 給付型

家計が急変し、緊急に支援の必要がある場合には、急変後の所得の見込みにより要件を満たすことができれば出願が可能です。詳細は募集要項で確認してください。

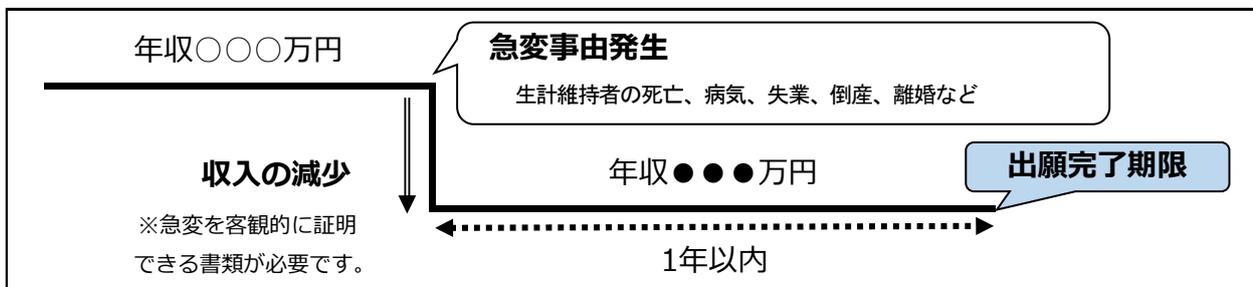
基礎資格	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 回生～4 回生（薬学部薬学科は 1 回生～6 回生）※外国人留学生は除く</li> <li>・ 出願時から遡って 3 カ月以内に以下の事由が発生した方 ※1               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 生計維持者の一方（または両方）が死亡</li> <li>② 生計維持者の一方（または両方）が事故又は病気により、半年以上就労が困難</li> <li>③ 生計維持者の一方（または両方）が失職（非自発的失業の場合に限る）</li> <li>④ 生計維持者が震災、火災、風水害等に被災した場合であって、次のいずれかに該当                   <ul style="list-style-type: none"> <li>a. 上記①～③のいずれかに該当</li> <li>b. 被災により、生計維持者の一方（または両方）が生死不明、行方不明、就労困難など世帯収入を大きく減少させる事由が発生</li> </ul> </li> <li>⑤ 本人が父母等による暴力等から避難するために、「児童福祉法」または「売春防止法」の定める施設等へ入所等することとなった</li> </ul> </li> </ul>
給付額	
学力基準	別途募集要項確認のこと
その他の基準	
家計基準	急変事由発生後の生計維持者（父母両方）の所得基準が住民税非課税世帯およびそれに準ずる世帯となり、かつ資産が基準額未満であること。
継続審査	採用後、3 カ月毎（家計急変発生月から 15 カ月経過後は 1 年毎）に日本学生支援機構による収入額等の判定（支援区分の見直し）が行われます。

※1 2023 年度入学者で、家計急変の事由が進学前の 2021 年 1 月以降、進学の前月までに発生していた場合は、進学後 3 カ月以内に申し込む必要があります。

日本学生支援機構貸与奨学金の申し込みは、原則 4 月のみですが、家計急変が起きた場合は、緊急および応急採用枠として随時出願が可能です。貸与条件や卒業後の返還義務、保証制度などについては、通常採用の第一種・第二種と同様です。すでに同一種の奨学金を受給中の場合、重複しての受給はできません。

		緊急採用（第一種）	応急採用（第二種）
利子		無利子	有利子（上限は 3%、在学中は無利子）
貸与月額		通常の第一種・第二種と同じ（P.5 参照）	
出願基準	基礎資格	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 回生～4 回生（薬学部薬学科は 1 回生～6 回生）（外国人留学生は除く）</li> <li>・ 出願時から遡って 1 年以内に生計維持者の死亡・病気・離婚・失業・倒産・定年退職・自己都合退職等の理由で家計が急変された方</li> </ul>	
	学力基準	修得単位数から判断して修業年限で卒業が見込まれること。 ＊学業成績に不安のある方も学生オフィスに相談してください。	
	家計基準	<b>急変事由発生後の</b> 生計維持者（父母両方）の年間収入・所得金額から、家庭事情に関する特別控除額を差し引いた金額が、日本学生支援機構の定める基準額以下であること。 ＊通常の第一種、第二種と同じのため、P.7(2)も参照してください。 ＊収入・所得の上限額の目安については、日本学生支援機構 Web サイトを参照 <a href="https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/taiyo/index.html">https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/taiyo/index.html</a>	
	併給	現在第一種奨学金を受給されている方は、緊急採用の出願不可	現在第二種奨学金を受給されている方は、応急採用の出願不可
貸与期間		急変発生の当月以降から、修業年限まで。 ※毎年 1 回、（例年 12 月頃）緊急継続手続・修得単位数による審査があります。	採用年度の 4 月以降で申し込み者が希望する月から、修業年限まで。 ※毎年 1 回、（1 月頃）継続手続・修得単位数による審査があります。

【家計急変のイメージ図】



修学の意志があるにもかかわらず、家計の急変や災害による経済的な理由により、修学が困難となった学生を学費減免することにより、修学の継続を支援することを目的としています。

この制度は、国の「高等教育の修学支援新制度」のうち、家計急変の授業料減免制度と立命館大学独自制度を包括したものであり、学部在籍している学部生および2023年度入学予定者が対象です。

※外国人留学生（法定特別永住者またはその配偶者は除く）・聴講生・科目等履修生は出願できません。

	学部生	入学予定者
基礎資格	・出願時から遡って1年以内に以下の事由が発生した方	2022年1月以降2023年3月31日までに以下の事由が発生した方
	① 生計維持者の死亡（自然災害等による場合も含む） ② 生計維持者が重度後遺障害に認定（自然災害等による場合も含む） ③ 自然災害等により生計維持者の居住する家屋が被害を受けた 生計維持者の居住家屋の被害（罹災証明書により「半壊」以上の被害を対象とする）。 ※持ち家・賃貸物件のどちらでも可（生計維持者が被災者の罹災証明必要） ※家屋以外の被害(物置・ガレージ・塀等)のみの場合は対象となりません。 ※生計維持者の所有する賃貸物件(他人に貸与中)は対象となりません。 ※水害の場合、床上浸水も対象となりますが、「半壊」以上の被害を対象としますので、「準半壊」以下の場合対象外となります（床下浸水も対象外）。 ④ 自然災害等により生計維持者が負傷し、30日以上長期入院・加療の必要が生じた（ただし精神障害は対象外）	
家計基準	生計維持者の年間収入が、給与収入の場合600万円以下、自営業その他所得の場合197万円以下であること。	
給付額	年間授業料の1/4の額	
募集・出願	随時募集	入学前と入学後の2回募集
	原則、日本学生支援機構給付奨学金（家計急変）に出願すること。 詳細は各募集要項を確認	

【立命館大学家計急変学費減免】の詳細および募集要項は、いずれも本学奨学金 Web サイトに掲載しています。

<https://www.ritsumei.ac.jp/scholarship/economic02.html/#economic-ritsumei-bosyu-04>



 家計急変奨学金は、以下の事由による急変により授業料などの納付が困難となった学生に奨学金を給付することで、修学の継続を支援することを目的としています。父母教育後援会奨学金は立命館大学父母教育後援会会員の方にのみ適用されます。

出願基準	基礎資格	<p>本学の父母教育後援会の会員であり、かつ以下①②のいずれかに該当すること（いずれの事由も<b>入学前の発生は対象外</b>）。</p> <p>①出願時から遡って1年以内に、学費を負担している父母もしくは保証人が<b>死亡</b>した場合</p> <p>②出願時から遡って1年以内に、学費を負担している父母もしくは保証人が<b>重度後遺障害を生じたことにより就労不能</b>となった場合</p>
	学力基準	なし
給付内容	<p>給付決定日が属する学期から、在学期間が4年（薬学部薬学科は6年）に達する学期までの授業料相当額を奨学金として給付（授業料に充当）。</p> <p>但し、給付決定日が属する学期が在学期間4年となる学期もしくは在学期間4年を超えている場合は、その学期から2学期分を奨学金として給付。給付期間中に卒業・退学等で学籍を失った場合は、給付を中止します。</p>	
採用人数	出願資格を満たした方全員	
募集時期 出願期間	<p>随時出願可。ただし、春学期授業料の給付対象となるのは当該年度の7月末の出願まで、秋学期授業料の給付対象となるのは1月末の出願までです。</p>	

【立命館大学父母教育後援会 家計急変奨学金】の詳細および募集要項は、いずれも本学奨学金 Web サイトに掲載しています。

<https://www.ritsumei.ac.jp/scholarship/economic02.html/#economic-ritsumei-bosyu-05>



## 2 - 5 立命館大学父母教育後援会 会員弔慰金

立命館大学父母教育後援会会員である父母、またはこれに準ずる方が亡くなられた際に、弔慰金（5万円）を献呈します。会員の死亡日から1年以内に申請が必要です。申請書類は立命館大学父母教育後援会 Web サイトからダウンロードのうえ、所属キャンパス学生オフィス窓口に提出してください。

立命館大学父母教育後援会 Web サイト <https://www.ritsumei-fubo.com/>



## 災害等により自宅（実家）が被災した学生をサポート

以下に紹介する奨学金・支援金は、本学奨学金 Web サイトに募集要項を掲載しております。詳細は、必ず各種募集要項で確認してください。また、P14 の「2-3 立命館大学家計急変学費減免」は災害による急変も対象ですのでこちらも併せて確認してください。

<https://www.ritsumeai.ac.jp/scholarship/economic02.html/#economic-ritsumeai-bosyu-07>



### 2-6 立命館大学父母教育後援会 災害支援奨学金

給付型

災害により人的・経済的被害を受け、修学が困難になった学生に対して奨学金を給付し、修学の継続を支援することを目的とした制度です。給付決定日が属する学期から 2 学期分の授業料相当額を奨学金として給付します。対象となるのは、父母教育後援会の会員である本学学部学生の学費負担者が、災害により以下の被害を受けた場合です。

- ① 30 日以上の治療を要する重傷を身体に受けた場合（精神障害は対象外）。
- ② 居住している家屋が全壊、全焼、半壊、半焼、床上浸水の被害を受けた場合（役所発行の証明書必要）。  
※学費負担者が居住している家屋が対象となります（持ち家・賃貸の別はありません）。  
※居住していない所有する賃貸物件、勤務先、物置・ガレージ・塀などのみの被害は対象となりません。  
※入学前の被災は対象外です。

### 2-7 立命館大学父母教育後援会 会員災害見舞金

立命館大学父母教育後援会会員が災害により以下の被害にあわれた場合、見舞金（1 世帯 5 万円）を給付します。会員の被災から 1 年以内に申請が必要です。申請書類は立命館大学父母教育後援会 Web サイトからダウンロードのうえ、所属キャンパス学生オフィス窓口へ提出してください。家屋の状況が以下の②③に該当せず①について申請される場合は、診断書も併せて提出してください。申請書類は立命館大学父母教育後援会 Web サイト、学生オフィス窓口で入手できます。

- ① 30日以上の治療を要する重傷を身体に受けた場合（精神障害は対象外）
- ② 居住した家が全壊・全焼、半壊・半焼した場合
- ③ 家屋が半壊に至らなくても床上浸水による被害を受けた場合

### 2-8 JASSO 災害支援金（自然災害等）

給付型

「JASSO 支援金」は、日本学生支援機構が行う寄附金事業であり、自然災害等により学生本人やその生計維持者が居住する住宅に半壊以上などの被害を受けたことで、学生生活の継続に支障をきたした学生が、一日も早く通常の学生生活に復帰し学業を継続するための支援制度です。支給額は 10 万円（返還不要）の予定です。

申請は、学生オフィスで随時受け付けていますが、自然災害等が発生した月の翌月から起算して 6 カ月以内に全ての手続きを完了させる必要があります。

### 3. 教育ローン

本ページでは各種教育ローンを紹介します。いずれも各種奨学金と重複して利用可能です（ただし、各金融機関の審査により希望に添えない場合もありますので、ご了承ください）。いずれも web 申し込みが可能です。申し込み・問い合わせにつきましては、直接、各金融機関へお問い合わせください。

#### (1)日本政策金融公庫「国の教育ローン」：政府系金融機関の教育ローン

入学には、まとまった資金が必要です。随時申し込み可能ですが、受験前から事前に申し込んでおき、合格と同時に融資を受け、入学手続きに必要な資金を借りることができる教育ローンです。詳しくは以下に問い合わせください。

金利	年 1.95% <2023 年 1 月現在>
教育ローンコールセンター	0570-008-656
Web サイト	<a href="https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html">https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html</a>

#### (2)セディナ「学費ローン」：低金利ローンで学費納入をバックアップ

立命館大学と SMBC ファイナンスサービス株式会社（以下 SMBC）との提携により、SMBC が利用者に代わって学費などの納付金を本学へ立て替え払いし、利用者は SMBC へ分割で返済する制度を導入しています。詳しくは以下に問い合わせください。

分割払手数料（実質年率）	年 2.50% <2023 年 1 月現在>
カスタマーセンター	050-3827-0375
Web サイト	<a href="https://www.cedyna.co.jp/loan/alliance/tuition/">https://www.cedyna.co.jp/loan/alliance/tuition/</a>

#### (3)オリエントコーポレーション「学費サポートプラン」：本学と信販会社が提携したローン

立命館大学と株式会社オリエントコーポレーション（以下オリコ）との提携により、オリコが利用者に代わって学費などの納付金を本学へ立て替え払いし、利用者はオリコへ分割で返済する制度を導入しています。詳しくは以下に問い合わせください。

分割払手数料（実質年率）	2.50% <2023 年 1 月現在>
オリコ学費サポートデスク	0120-517-325
Web サイト	<a href="https://orico-web.jp/gakuhi/index.html">https://orico-web.jp/gakuhi/index.html</a>

#### (4)滋賀銀行「ジャストサポート提携ローン(教育資金)」：幅広いニーズに対応 低金利の銀行教育ローン

立命館大学と株式会社滋賀銀行との提携により、本学への納付金やその他にかかる費用（仕送り資金、住居費用、留学費用など）についても幅広く対応しています。詳しくは以下に問い合わせください。

年利（変動金利）	年 2.25%または 3.05%（審査によって決定） <2023 年 1 月現在>
滋賀銀行 クレジットセンター	0120-889-201
Web サイト	<a href="https://mcl.sbk.jp/lp/teikei/">https://mcl.sbk.jp/lp/teikei/</a>